学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	工業情報数理	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	精選情報工業数理（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報モラルを身に付け、情報の取扱い方や、産業社会と情報技術の知識や基礎全般を学びます。またコンピュータとアプリケーションソフトウェアの基本操作を学び、情報化社会と工業デザイン分野で必要な知識と操作方法を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

・社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。
・情報技術に関する知識と技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】

・工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

・情報技術を通して新しい社会のあり方を捉え、主体的に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技能を身に付けている。	諸問題の解決をめざして自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身に付けており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	情報技術に関する基礎的な知識をもち、社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、主体的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ソフトウェアの操作①	・コンピュータの基本操作 ・アプリケーションソフトウェアの基本操作 ・CADの基本操作と作図 ・画像や図形の処理	a：基本操作を理解し、活用する技能を持っている。 b：情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。 c：社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、主体的に取り組んでいる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等
2	情報モラルと基本操作	・情報化の進展と産業社会 ・情報化社会のモラルと管理 ・コンピュータの基本操作 ・アプリケーションソフトウェアの基本操作	a：情報に対するセキュリティや情報モラルに対する知識や技術を身に付けている。 b：情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。 c：社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、主体的に取り組んでいる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等
3	ソフトウェアの操作②	・アプリケーションソフトウェアの基本操作 ・CADの基本操作と作図 ・画像や図形の処理 ・プレゼンテーション ・レイアウト	a：アルゴリズムを用いて処理することができ基本操作を理解し、活用する技能を持っている。 b：情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。 c：社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、制作工程のるルールを数理モデルを用いて主体的に取り組んでいる。	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等	学習状況の観察 実習ノートの記述 作品レポート 発表 自己評価 相互評価等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度